

OSK サステナビリティ基本方針、ESG分野別 マテリアリティ、具体的実施内容・KPI I-目標一覧表

サステナビリティ基本方針
 私たちは、グループビジョンを基軸とし、単にモノを「包む」ことに留まらず、社会や未来も含めて大きく包み込みます。お客様や社会、そして地球環境を大切にし、持続可能な未来を目指して革新と成長を追求することで、社会のニーズに応え続けられます。また、循環型社会において最適なソリューションを提供し、未来を変えるイノベーションで社会に貢献することを目指します。

サステナビリティ基本方針に基づき、当社グループが事業活動を通じて、特に社会課題の解決に貢献できるESG関連の問題について、環境(E)、社会(S)、ガバナンス(G)の視点から以下の優先課題(マテリアリティ)を特定しました。この取り組みを基盤に、次の100年を見据えた持続可能な成長を目指します。

ESG分野	カテゴリ	マテリアリティ	具体的実施内容	KPI	2035年目標	2026~2028年中期目標	貢献するSDGs
環境(E)	地球温暖化	温室効果ガス削減 (Scope1・2)	・エネルギー転換(低炭素・非化石燃料への移行) ・省エネ活動 ・CO2排出量に関して第三者検証 ・全社員に対して環境に関する研修	Scope1・2削減率(%)	(2030年度目標)2013年度比 46%削減 (2035年度目標)2013年度比 60%削減	2026~2028年 削減量 1,298t-CO2 2013年度比 18.3%削減	
		温室効果ガス削減 (Scope3)	・サプライチェーン全体の排出量算定	Scope3 算定値(t-CO2)	主要カテゴリ(カテゴリ1,4) 排出量の算定開始	主要カテゴリ(カテゴリ1,4) 排出量の算定準備、算定開始	
	廃棄物・循環型社会	自社製品のリサイクル	・自社製品(バルブモールド)のお客様との連携による回収	製品回収 再利用量(t)	製品回収再利用量(1,600t)	リサイクル素材の活用、循環型パッケージングの開発 製品回収再利用量(1,450t)	
	リスク・機会	水資源の適正管理	・工業用水(取水・排水)の適切管理	排水のBO D数値	各地域協定基準値以下	各地域協定基準値以下	
社会(S)	地域社会への貢献	体験型教育の提供 (資源の有効活用)	・アルエコ活動(※注1)の実施	アルエコ 活動回数	アルエコ活動 10回/年	アルエコ活動 5回/年	
	強制労働・人権問題	社会的責任ある素材調達	・サプライチェーンでの強制労働ゼロ推進	サプライヤー遵守率調査(%)	主要サプライヤー上位50%調査	主要サプライヤー上位30%調査	
	安全衛生	労働災害防止	・安全衛生管理体制強化 ・適切な労働環境の提供	労働災害 度数率	1.0以下	1.5以下	
	安全衛生	健康経営優良法人認証取得 (経済産業省)	・健康診断要再検査受診率の向上 ・ストレスチェックの実施	要再検査 受診率(%) ストレス チェック実施率(%) 健康経営 優良法人認証	100% 100% 健康経営優良法人認証維持	100% 100% 健康経営優良法人認証取得(経済産業省)	
	事業継続	安定的なサプライチェーンの構築	・リスク管理と安定供給の確保	供給安定 性評価	年間供給障害ゼロ 主要サプライヤー上位50%のリスク調査	サプライチェーンの多様化 主要サプライヤー上位30%のリスク調査	
	キャリア	女性活躍推進	・女性役員、女性管理職の増加、育成プログラム実施	女性管理職 比率(%) 女性役員 比率(%)	10%以上 20%以上	4.5%以上 15%以上	
キャリア	人材育成と働きかいの向上	・研修参加率・従業員満足度向上 ・ワークライフバランスの充実(健康経営) ・キャリア開発プログラムの提供 ・社内トレーニングおよび研修の実施 ・従業員エンゲージメントアンケートの実施→結果分析と対策実施	研修参加 率(%) 年休取得 率(%) 平均残業 時間(時間) エンゲージメントスコア	研修参加率70% 年休取得率:75% 平均残業時間:10.0時間 キャリア開発プログラムの継続 エンゲージメントスコア2023年より+50.0%(アンケート2回/年)	研修参加率50% 年休取得率:60.0% 平均残業時間:15.0時間 キャリア開発プログラムの構築 エンゲージメントスコア2023年より+15.0%(アンケート1回/年) メンタルヘルスケアサポート		
ガバナンス(G)	コーポレートガバナンス	情報セキュリティの強化	・セキュリティ教育の実施	認証取得、インシデント件数	認証取得、重大件数ゼロ セキュリティ教育実施	認証取得検討、インシデント件数の把握 セキュリティ教育実施	
	コーポレートガバナンス	スピード経営	・ERPシステム導入、データドリブン経営	ERPシステム導入	ERPシステム導入完了	・自社専用のOpenAI環境構築 ・主要拠点BPR(業務改革)、ERPシステム導入検討	
	企業行動	高付加価値製品の開発	・イノベーション投資強化、年間新製品数目標設定	年間新製品数	5製品以上	3製品以上	
	企業行動	コンプライアンス遵守	・定期的な内部監査実施、監査体制の強化 ・コンプライアンス勉強会実施	監査実施 率(%) 勉強会受 講率(%)	全部門年1回80%実施 全社員勉強会参加率100%	全部門年1回50%実施 全社員勉強会参加率100%	

注1: アルエコ活動 移動式バルブモールド製造機械によるリサイクル啓蒙活動